



## 2021年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年4月13日

上場会社名 Sansan株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4443 URL http://jp.corp-sansan.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役/CEO (氏名) 寺田 親弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役/CF0/財務経理部 担当 (氏名) 橋本 宗之 TEL 03 (6758) 0033  
 四半期報告書提出予定日 2021年4月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有  
 四半期決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年5月期第3四半期の連結業績 (2020年6月1日～2021年2月28日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第3四半期	11,753	21.5	823	324.5	479	490.4	413	-
2020年5月期第3四半期	9,671	31.4	193	-	81	-	△94	-

(注) 包括利益 2021年5月期第3四半期 400百万円 (-%) 2020年5月期第3四半期 △96百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第3四半期	13.29	13.12
2020年5月期第3四半期	△3.05	-

(注) 2020年5月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年5月期第3四半期	20,232	11,091	54.5
2020年5月期	22,819	10,552	46.2

(参考) 自己資本 2021年5月期第3四半期 11,032百万円 2020年5月期 10,541百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2021年5月期	-	0.00	-	-	-
2021年5月期 (予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2021年5月期の連結業績予想 (2020年6月1日～2021年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,767 ~16,302	18.0 ~22.0	757 ~1,010	0.0 ~33.4	-	-	-	-	-

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

2. 経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の黒字の計上についても見込んでいますが、現時点では精緻化が困難であることから、具体的な予想数値の開示は行っていません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年5月期3Q	31,165,234株	2020年5月期	31,138,853株
② 期末自己株式数	2021年5月期3Q	40株	2020年5月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年5月期3Q	31,139,989株	2020年5月期3Q	30,857,908株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「出会いからイノベーションを生み出す」というミッション、「ビジネスインフラになる」というビジョンを掲げ、「クラウドソフトウェア」に「テクノロジーと人力による名刺データ化の仕組み」を組み合わせ合わせた新しい手法を軸に、企業やビジネスパーソンが抱えるさまざまな課題の解決につながるサービスを展開しています。

当第3四半期連結累計期間は、継続的な売上高の成長の実現に向け、人材採用をはじめとした営業体制の強化に取り組みました。また、法人向けクラウド名刺管理サービス「Sansan」と名刺アプリ「Eight」上で利用できる「オンライン名刺」の利用拡大を推進したほか、クラウド請求書受領サービス「Bill One」の立ち上げに注力しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は11,753,209千円（前年同期比21.5%増）となり、2021年1月に日本国内の一部地域に発出された緊急事態宣言によるマイナス影響をやや受けたものの、総じて堅調な実績となりました。また、売上総利益は10,321,127千円（前年同期比24.1%増）、売上総利益率は87.8%（前年同期比1.8ポイント増）となりました。営業損益以下は、積極的な成長戦略の実行によって広告宣伝費や人件費等が増加したものの、売上高の伸長等に伴い利益率が大きく改善し、営業利益は823,156千円（前年同期比324.5%増）、経常利益は479,331千円（前年同期比490.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は413,870千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失94,154千円）となりました。

セグメント別の業績は以下の通りです。

なお、当社IRサイトに各事業のサービス内容やビジネスモデル、競争優位性等を掲載しています。詳しくは以下URLをご参照ください。  
IRサイト（事業内容）：<https://ir.corp-sansan.com/ja/ir/management/businessinformation.html>

#### ①Sansan事業

当社は法人向け名刺管理サービス市場においてサービスを展開しており、同市場は、当社の成長等につれて2010年から2018年にかけて18倍に拡大しています。同市場において、当社が展開する「Sansan」は83.5%の市場シェア（注1）を占めていますが、昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大によるリモートワーク等の働き方の変化やデジタルトランスフォーメーションへの意識改革、SaaSビジネスへの関心の高まり等によって、市場規模はさらなる拡大が続いています。また、デジタルトランスフォーメーション市場は2030年において3兆425億円（2019年比2兆2,513億円増）（注2）、国内SaaS市場は2024年には1兆1,178億円（2019年比5,162億円増）（注3）の規模に達すると予想されています。

当第3四半期連結累計期間においては、「Sansan」の契約件数及び契約当たり月次売上高のさらなる拡大に向け、人材採用をはじめとした営業体制の強化のほか、「オンライン名刺」機能の利用拡大に取り組みました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、新規契約獲得に一定のマイナス影響が生じたものの、営業体制の強化等が奏功し、大手メーカーや中小企業の新規契約獲得が進んだ結果、当第3四半期連結会計期間末における「Sansan」の契約件数は前年同期末比14.2%増の7,523件と順調に推移しました。また、契約当たり月次売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、「Sansan」の初期導入時に提供するサービス料金等で構成される一部の売上高が低調に推移したこと等から、前年同期比2.5%増の167千円に留まりました。加えて、強固な顧客基盤の実現に向け、既存顧客の利用拡大に対する継続的な取り組みを行った結果、直近12か月平均の月次解約率（注4）は0.67%（前年同期比0.11ポイント増）となり、コロナ禍においても1%以下の低水準を維持しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は10,651,094千円（前年同期比19.3%増）、うち「Sansan」における固定収入であるストック売上高は10,100,598千円（前年同期比24.6%増）となりました。また、セグメント利益は4,528,774千円（前年同期比40.0%増）となりました。

- (注) 1. シード・プランニング「名刺管理サービスと営業サービス（SFA/CRM/オンライン名刺交換）の最新動向」  
2. 富士キメラ総研「2020 デジタルトランスフォーメーション市場の将来展望」  
3. 富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場 2020年版」  
4. 「Sansan」の既存契約の月額課金額に占める、解約に伴い減少した月額課金額の割合

#### ②Eight事業

Eight事業では、プロフィール管理や名刺管理機能が無料で利用できる名刺アプリ「Eight」をベースと

し、一部利用機能を拡充したBtoCサービス「Eightプレミアム」と「Eight」における名刺共有を企業内で可能にするサービス「Eight 企業向けプレミアム」や「Eight」のユーザーに対して広告配信ができるサービス「Eight Ads」、買い手と売り手を効率的にマッチングさせ、生産性を上げるビジネスイベント「Meets」、転職潜在層のユーザーにアプローチ可能な採用関連サービス「Eight Career Design」等のBtoBサービスを提供しています。

当第3四半期連結累計期間においては、「Eight 企業向けプレミアム」等のBtoBサービスのマネタイズ強化に取り組んだ結果、当第3四半期連結会計期間末における「Eight 企業向けプレミアム」の契約件数は前年同期末比57.5%増の2,132件となりました。また、「Eight」ユーザー数(注5)は前年同期末比20万人増の286万人となり、順調に伸長しました。そのほか、連結子会社化したログミー株式会社(以下、ログミー社)の業績が2020年9月より寄与しています(当セグメントのBtoBサービス売上高に計上)。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,104,415千円(前年同期比49.1%増)、うちBtoCサービス売上高は221,820千円(前年同期比1.9%増)、BtoBサービス売上高は882,595千円(前年同期比68.8%増)となりました。セグメント損益については、現在は将来の収益化に向けた先行的な投資を行っているフェーズであることから、セグメント損失538,710千円(前年同期はセグメント損失715,289千円)を計上しました。

(注) 5. アプリをダウンロード後、自身の名刺をプロフィールに登録した認証ユーザー数

なお、2020年5月よりサービス提供を開始したクラウド請求書受領サービス「Bill One」に係る売上高及び一部の原価は社内で設定したルールに基づき、各セグメントに配賦して計上していますが、当該サービスに係るそれ以外の原価や全ての販管費は、各セグメントに配賦しない全社費用として計上する方法を採用しています。

当第3四半期連結累計期間においては、「Bill One」の成長実現に向け、営業体制の強化やテレビCMを中心とした広告宣伝活動等を行った結果、当第3四半期連結会計期間末における契約件数は、前四半期末比86.5%増と順調に成長しました。今後、人材採用や広告宣伝活動、サービスの改善等の推進によって、2022年5月期末の契約件数1,000件以上を目指しています。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は20,232,511千円となり、前連結会計年度末に比べて2,587,256千円減少しました。これは主に、現金及び預金の減少2,154,945千円及び投資有価証券の減少930,823千円、並びにログミー社取得によるのれんの増加190,680千円及び繰延税金資産の増加105,981千円によるものです。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は9,141,085千円となり、前連結会計年度末に比べ3,126,061千円減少しました。これは主に、長期借入金の減少2,744,750千円、及び顧客企業から契約期間分の料金を一括で受領すること等による前受金の減少588,044千円、並びに未払金の増加489,015千円によるものです。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は11,091,426千円となり、前連結会計年度末に比べ538,805千円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加413,870千円によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の営業利益はすでに業績予想レンジの下限値を超えています。第4四半期において中長期的な成長実現に向けた投資を検討・実行していく予定にしていることから、期初に公表した通期業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,815,225	10,660,280
売掛金	441,060	442,953
前払費用	410,582	434,513
その他	176,945	140,569
貸倒引当金	△3,621	△4,630
流動資産合計	13,840,192	11,673,686
固定資産		
有形固定資産	414,467	531,461
無形固定資産		
ソフトウェア	925,803	1,007,208
のれん	—	190,680
その他	261	164
無形固定資産合計	926,064	1,198,052
投資その他の資産		
投資有価証券	6,941,596	6,010,773
敷金	549,412	560,383
繰延税金資産	145,185	251,166
その他	2,850	6,988
投資その他の資産合計	7,639,043	6,829,311
固定資産合計	8,979,576	8,558,825
資産合計	22,819,768	20,232,511

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	102,922	108,926
短期借入金	20,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	1,267,490	1,171,872
未払金	596,265	1,085,280
未払法人税等	225,471	103,486
未払消費税等	429,584	224,361
前受金	5,289,822	4,701,778
賞与引当金	289,551	173,612
その他	114,449	188,270
流動負債合計	8,335,558	7,957,588
固定負債		
長期借入金	3,892,598	1,147,847
その他	38,990	35,649
固定負債合計	3,931,588	1,183,497
負債合計	12,267,147	9,141,085
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,236,650	6,281,556
資本剰余金	3,977,043	4,021,948
利益剰余金	344,184	758,054
自己株式	—	△262
株主資本合計	10,557,879	11,061,297
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△23,301
為替換算調整勘定	△15,921	△5,876
その他の包括利益累計額合計	△15,921	△29,178
新株予約権	10,663	54,887
非支配株主持分	—	4,419
純資産合計	10,552,621	11,091,426
負債純資産合計	22,819,768	20,232,511

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月 1日 至 2020年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年6月 1日 至 2021年2月28日)
売上高	9,671,494	11,753,209
売上原価	1,357,551	1,432,082
売上総利益	8,313,942	10,321,127
販売費及び一般管理費	8,120,038	9,497,971
営業利益	193,904	823,156
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,590	536
解約違約金収入	2,149	3,249
助成金収入	—	5,295
投資有価証券売却益	—	32,897
投資事業組合運用益	—	2,802
その他	921	933
営業外収益合計	4,660	45,714
営業外費用		
支払利息	10,329	19,527
株式交付費	28,102	—
株式上場費用	15,049	—
支払手数料	19,457	24,135
為替差損	1,309	1,433
持分法による投資損失	37,914	232,439
賃貸借契約解約違約金損失	—	92,953
その他	5,215	19,049
営業外費用合計	117,378	389,538
経常利益	81,186	479,331
特別損失		
固定資産除却損	6,421	3,798
減損損失	37,854	—
イベント中止損失	54,087	—
特別損失合計	98,363	3,798
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△17,177	475,533
法人税、住民税及び事業税	76,977	167,775
法人税等調整額	—	△105,981
法人税等合計	76,977	61,794
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△94,154	413,739
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△130
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△94,154	413,870

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月 1日 至 2020年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年6月 1日 至 2021年2月28日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△94,154	413,739
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△23,301
為替換算調整勘定	△1,990	10,044
その他の包括利益合計	△1,990	△13,256
四半期包括利益	△96,145	400,482
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△96,145	400,613
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△130

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Sansan事業	Eight事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,930,916	740,577	9,671,494	-	9,671,494
セグメント間の内部売上高 または振替高	-	-	-	-	-
計	8,930,916	740,577	9,671,494	-	9,671,494
セグメント利益または損失(△)	3,235,948	△715,289	2,520,658	△2,326,754	193,904

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額△2,326,754千円は、報告セグメントに配分していない全社費用の金額であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

Sansan事業、Eight事業及び報告セグメントに帰属しない全社費用として、ソフトウェアについて帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失に計上しています。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において、Sansan事業6,387千円、Eight事業9,648千円、報告セグメントに帰属しない全社費用21,818千円です。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年6月1日 至 2021年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Sansan事業	Eight事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,651,094	1,102,115	11,753,209	-	11,753,209
セグメント間の内部売上高 または振替高	-	2,300	2,300	△2,300	-
計	10,651,094	1,104,415	11,755,509	△2,300	11,753,209
セグメント利益または損失(△)	4,528,774	△538,710	3,990,064	△3,166,908	823,156

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額△3,166,908千円は、報告セグメントに配分していない全社費用の金額であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間に「Eight事業」セグメントにおいて、ログミー株式会社の株式を取得し、連結子会社として連結の範囲に含めたことにより、のれんを計上しています。当第3四半期連結累計期間において、当該事象によるのれんの増加額は190,680千円です。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。